

令和6年度 千葉大学文学部公開講座

ウクライナ戦争／ガザ危機を 歴史のなかで読み解く

ウクライナ戦争やガザの惨劇など、衝撃的なできごとが相次ぐなか、これらの事態の背景や意味を歴史学的に読み解くことをめざします。戦争や占領、植民地主義の傷跡といった問題は、日本社会に生きる私たちにとっても無関係のものではありません。地域の歴史もひもときながら、世界史の中で私たちはどのような地点に立っているのかを共に考えたいと思います。

日時 令和6年11月2日(土) 13:00～15:00

会場 千葉大学西千葉キャンパス

人文社会科学系総合研究棟2階 マルチメディア会議室

対象 高校生以上の方

<プログラム>

13:00～13:05 開会挨拶(栗田 禎子)

13:05～13:35 磯貝 真澄

「ウクライナ戦争から考える多民族国家ロシア・ソ連」

13:35～14:05 栗田 禎子

「ガザの悲劇と歴史の転換点：

世界は戦争・植民地主義を克服できるか」

14:05～14:35 檜皮 瑞樹

「軍都千葉と千葉大学」

14:35～14:45 休憩

14:45～15:00 質疑応答・閉会挨拶

受講料：無料

*事前申込みは不要ですが、座席数に限りがあります。

受付は先着順です。

*当日は大学祭期間中のため、お車での入構はできません。



主催 千葉大学文学部

お問合せ先 千葉大学人社系学務課学部学務室(文学部担当)

TEL 043-290-3631

E-mail gaj3631@office.chiba-u.jp